

# 世界最大の自主映画コンペティション

# [PFFアワード2011]

602作品から厳選された17作品を一挙上映。  
濃くて切ない青春映画を、  
たっぷりじっくり堪能してください！

京都では観客投票で選ばれる京都賞＝京都グランプリを実施します



[PFFアワード]とは、1977年から始まった自主映画のためのコンペティションです。作品の長さ、ジャンル、フォーマット、応募年齢などの制限は全くありません。今回上映する17作品は、昨年の公募期間にご応募いただいた中から約4ヶ月の審査期間を経て選ばれた作品です。東京では2011年9月に東京国立近代美術館フィルムセンターにて開催し、最終審査員とPFFパートナーズにより各賞が発表され、その後全国各地を巡回しています。

最終審査員  
毎回顔ぶれの違うクリエイター5名によって構成されます。今回はこの5名の審査により各賞が決定いたしました。(敬称略)



※監督の年齢・肩書きは作品制作当時のものです。

★ 監督来場予定

3月17日[土] 15:30~

## 『Recreation』

78分



**高校生の夏、浸潤する不穏な熱気**  
退屈故に暴走する夏休みを突き刺すような緊張感で描きバンクーバー国際映画祭スペシャルメンション授与。

**永野義弘**  
22歳・福岡県出身  
神戸芸術工科大学  
先端芸術学部  
メディア表現学科映画専攻  
監督の大学時代の恩師は「生きてるものはいないのか」の石井岳龍監督

3月17日[土] 15:30~

## 『春夏秋冬くるぐる』★

45分 ※準グランプリ



**戻らない、かけがえない毎日**  
ボロアパートに暮らす大学生と仲間との、ささやかな愛すべき日常。卒業を控え、それぞれに決意をしていく。

**日原進太郎**  
31歳・大阪府出身  
専門学校教員  
主人公の大学生役はお笑いコンビ「弾丸ジャッキー」の松雪オラキオ

3月18日[日] 15:30~

## 『僕らの未来』★

75分 ※審査員特別賞



**私が私であることの勇気と光明**  
性同一性障害に苦しむ僕はどう現実を生きる？その切実な悩みが心を強く揺さぶりバンクーバー国際映画祭出品。

**飯塚花笑**  
20歳・群馬県出身  
東北芸術工科大学  
映像学科  
最終審査員の瑛太氏が「涙が出たのはこの作品だけで」とコメント

3月18日[日] 15:30~

## 『山犬』★

61分



**人間心理の暗闇に分け入る**  
疑心暗鬼が渦巻く森で一体何が起ったのか？大胆で緻密な構成が、観るものの思考に巧みに揺さぶりをかける。

**佐藤考太郎**  
22歳・埼玉県出身  
多摩美術大学  
造形表現学部映像演劇学科  
出演している監督はこの作品での役柄同様、友人宅を渡り歩く放浪癖がある

3月18日[日] 18:15~

## 『ニュータウンの青春』

95分 ※エンタテインメント賞



**大好きだった仲間との愛しき日々**  
団地・自転車・童貞・情けない青春をエンタテインメント作品に昇華し、国内のみならず釜山国際映画祭でも人気に。

**森岡龍**  
23歳・東京都出身  
多摩美術大学  
造形表現学部映像演劇学科  
監督は役者としてもTV・映画等で活躍中

3月18日[日] 18:15~

## 『PICARO』

43分



**虐待を生き延びた兄妹の今に光を**  
絶望的な悲劇の底から生還した兄と妹。精緻な風景描写と演者の魅力に圧倒される、静かな再生の物語。

**野上鉄晃**  
28歳・長崎県出身  
映像ディレクター  
ロケ地は長崎県大村市。日本とは思えない風景が画面に捉えられている。

3月19日[月] 18:15~

## 『チルドレン』

108分 ※映画ファン賞



**親がだめなほど子は成長する**  
親の人間の脆弱さに直面したとき、思春期の子がとるべき最善策とは？家族幻想を超える瞬間が心を打つ青春映画。

**武田真悟**  
24歳・愛知県出身  
立教大学  
現代心理学部映像身体学科  
撮影スタッフはこれまで映画を作ったことのない「普通」の大学生だった

3月19日[月] 18:15~

## 『101』

30分



**いつも誰かに見られている恐怖**  
これぞ暗黒「ドラえもん」。すこし、ふしぎなデジタル機器が人の心の後ろ暗さを引き出しにするワンルームSF。

**酒巻大樹**  
24歳・長野県出身  
多摩美術大学  
情報デザイン学科  
芸術コース  
制作費はほとんどなかったが、アイデア出しには相当な時間をかけたそう

## 『ダムライフ』★

84分 ※グランプリ



3月20日[火・祝] 18:15~

**狂気と失笑と悲しみのダム、決壊す**  
虐げられた究極のイエスマンの暴走？あるいは現代日本の縮図？釜山国際映画祭のコンペティションでも賛否の嵐。

**北川仁**  
29歳・東京都出身  
劇団員・俳優  
お坊さんでもある監督は、実家の寺で読経しつつ映画の中でも残忍な死を表現している

## 『オードリー』

67分



3月20日[火・祝] 18:15~

**地方の女子高生のリアルな青春**  
女子高生・優子の、恋に友達に文化祭。素直さと開き直り、憧れとひねくれを堂々と貫いた、女子高生ものの一つの到達点。

**勝又悠**  
29歳・神奈川県出身  
映像ディレクター  
監督は「女子高生と恋愛」をテーマに映画を撮り続けている

## 『反芻』

117分



3月21日[水] 18:15~

**観客をも試す映画の実験**  
女の子1人と男の子2人。大事・どーでもいい・うそ・ほんと、あやふやな意識の差異にひそむブラックホール。

**狩野高太**  
24歳・群馬県出身  
東京造形大学大学院  
造形研究科造形専攻  
デザイン研究領域  
「映画批評への挑戦的作品」とは監督の談。大学では諏訪敦彦監督に師事していた

## 『untitled』

19分



3月21日[水] 18:15~

**天涯孤独の心情を詩的に綴る**  
ひとりで休日を通す女の子の1日。瑞々しい映像の19分間で浮き彫りになる彼女の想いに、胸を衝かれる。

**岩永洋**  
25歳・東京都出身  
撮影監督  
今回の監督の挑戦は、台詞が一切でこない中で、観客に伝える映像を撮ること

## 『パッション』

92分 ※審査員特別賞



3月22日[木] 18:15~

**迫真の演技に戦慄が走る**  
これほど心揺さぶる家族の話がかつてあったか。愛情飢餓ゆえ切実に生きる奪う男の受難を、重厚な作劇で描く。

**南部充俊**  
34歳・神奈川県出身  
映像制作会社勤務  
最終審査員の阿部秀司氏に「これぞエンタテインメント」と言わしめた、監督の処女作

## 『偶像讃歌』

35分



3月22日[木] 18:15~

**他者に冷淡な青春の姿を活写**  
もう子供じゃない、まだ大人ではない「私」。どこか空虚な高校生活で「リアル」への手触りを模索した、ある夏の記憶。

**和田彩**  
22歳・東京都出身  
日本大学  
芸術学部映画学科  
監督コース  
監督は現在プロの編集技術のもとでAvid編集技術を学んでいる

## 『TAITO』

70分 ※審査員特別賞



3月23日[金] 18:15~

**同僚の自殺で炙り出される内奥**  
典型的な正義と悪の境界で漂うだけに終わらず、本物の邪悪と醜悪を見逃すな！その正義は「善」なのか？「悪」はどこだ？

**緑朗**  
27歳・愛知県出身  
フリーター  
通りに通って通って通報されそうになったという、いわく付きのシーンあり

## 『ケージ』

57分



3月23日[金] 18:15~

**貧困のスパイラルを生きること**  
東京の東側、取り壊し間近の団地。高度経済成長が現在に遺した影を淡々と描く、裏面の東京物語。

**石井慎吾**  
27歳・東京都出身  
フリーター  
松田翔太主演「ケンタとジュンとカヨちゃんの国」は監督の実験がベースになっている

## 『チョッキン堪忍袋』

33分



3月23日[金] 18:15~

**変形した愛をコミカルに描く**  
若き女性監督の異能が弾ける限界ギリギリの兄妹愛物語。許されない、でも断ち切れない。この想いの終着駅は？

**天野千尋**  
28歳・愛知県出身  
フリーター  
社会人になってから映画制作のおもしろさに目覚めた監督は、現在会社を辞めて制作に励んでいる

## [PFFアワード]から多くの映画監督が生まれています



※写真は入選年順です。

※[]内は最新作品タイトル

石井岳龍「生きてるものはいないのか」/園子温「ヒミズ」/成島出「聯合艦隊司令官 山本五十六」  
塚本晋也「KOTOKO」/矢口史靖「ロボジー」/奥田庸介「東京プレイボーイクラブ」  
森田芳光「僕達急行 A列車で行こう」/内田けんじ「鍵泥棒のメソッド」/荻上直子「レンタネコ」  
黒沢清「トウキョウウソナタ」/中島哲也「告白」/橋口亮輔「ぐるりのこと。」  
鈴木卓爾「ゲゲゲの女房」/中村義洋「映画 怪物くん 3D」/佐藤信介「GANTZ」  
熊切和嘉「海炭市叙景」/李相日「悪人」/深川栄洋「神様のカルテ」  
石井裕也「ハラがコレなんで」など。